

領域教授名称付与式 挨拶

このたび、新しい制度として領域教授の名称付与規則が2021年1月1日付けで制定されました。

この制度は、教育・研究・診療の3領域のいずれかにおいて卓越した業績を上げ、本学の教授にふさわしい人格・見識を備えた者に対して、それぞれ教育教授・研究教授・病院教授の名称を付与するものです。

各部局からの推薦を基に選考を行い、2021年4月1日付けで9名の先生方に、それぞれ教授の名称を付与することとなりました。領域教授となりました皆様におかれましては、心からお祝い申し上げます。

皆様には、本学の教授の名称を付与された者として、大いに活躍いただくことを期待しております。

本学では、単に個人の業績の問題だけでなく、年齢、専門性など様々な要因に加え、分野の専門性や方向性等さまざまな観点から業績評価が行われて主任教授が決まっています。力点が置かれる要素も、教育・研究・診療・管理運営のそれぞれにどの程度かは、選考ごとに判断されています。

言い換えれば、その職に相応しい業績を有しながらも、その職位に登用されていなかった教員が過去におられたことも事実です。

本学は、昨年度からコロナ診療をリードし、来年から指定国立大学法人となることも決まっており、社会からの期待度はかつてなく高いものとなっています。

また、指定国立大学法人として本学が掲げた「トータルヘルスケアの実現」には、教育・研究・診療の多様な人材が必要となっています。

ひとつの専門を磨き続け医師のキャリアを究めていくという従来のパターンだけでは、社会が大きく変貌しようとしているこの時代を乗り切っていくことは不可能なこともあり得ます。

本日、ここに選ばれた領域教授の皆さんの中には、自らの専門をさらに発展させて次世代の教授を目指す方もいれば、あるいは新分野で活躍が期待されている方もいます。

皆さん全てが本学教授職に相応しい能力を有した方ばかりと認識していますが、教授という名称と責任の下、個人としてそれぞれの領域で新たな発展を遂げられるだけでなく、本学ひいては世のため人のためにより大きな貢献をして頂きたいと願っています。

本日は、教授就任誠におめでとうございます。今後のご活躍をお祈りして私の挨拶とさせていただきます。